

2020年度

学生が選ぶベストティーチャー賞

ベストコメント賞発表



2020年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」に、ご投票いただいた皆様ありがとうございました。いただいた投票の中から、8件の投票理由を「ベストコメント賞」として選出いたしました。ぜひご覧ください。

去年も先生の授業を受けていたが、とにかくわかりやすい。「社会学」という分かりにくい学問に加えて、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』という名前からして「何コレ？」な参考書の内容を扱っているのにもかかわらず、とにかくわかりやすい。何故ここまでわかりやすいか考えてみると、その理由が3点浮かんできた。

まず1点目は、授業資料がわかりやすい。図や表などが多用されていて且つ文字数がそんなに多くないため、非常に理解しやすい内容となっている。また、授業中に先生が作成した動画を鑑賞することがあるが、そのクオリティが非常に高く、観る者全てを引き込む。お金を出して買いたいくらいであり、YouTubeに上げたら100万再生は堅いだろうと思った。

2点目は学生とのコミュニケーションを積極的に取っていることである。今年度はオンラインのためなかなか難しいが、去年は授業中、積極的に学生に意見を求めており、教員と学生が一体となって授業の雰囲気を作り出していた。ただ今年度も、希望者はオンライン授業の後に先生と話す機会が得られるようになっている。

3点目は、先生は基本的にお喋りが大好きなので、話し方が上手でとても面白いことである。なんでもないことを笑いに変える力を持っており、お笑い芸人もいけたんじゃないかと思う。以上が、私が先生に投票した理由である。

楽しくわかりやすい授業の様子が伝わってきます！



Best comment award

春学期でオンライン授業が始まったばかりの不安定な状況の中、この授業はオンラインの良さを生かした授業であったと感じています。具体的には、毎回授業前にYouTubeで公開される予習ビデオは要点がまとまっていて学習しやすく、授業時間内に行うZoom上でのディスカッションでは皆が予習をしている前提で話が進むので無駄が無く効率の良い議論が展開できているように感じました。そして毎回の提出課題に先生からのコメント付きでの評価が翌週までに返ってくることで、これが何よりも嬉しかったです。対面の授業では先生と生徒一人一人が毎回対話する時間を設けることは難しいと思います。この授業では、先生が毎週自分の課題への返信をしてくださるので、次はもっと良い評価を取りたい！と学習のモチベーションへと繋がりました。緊急事態宣言下という状況で、大学や図書館へ行きづらいことも配慮して下さり、毎回のテーマもインターネットのみである程度情報収集できるものを選んで下さっていました。対面で会ったことはないけれど、毎週Zoom上で顔を合わせ、ディスカッションをしたメンバーには、共にこの苦境に立ち向かう学生同士ということで親近感も湧きました。この授業は非常に効率的で、オンライン授業の強みを生かした内容になっていました。初めてのオンライン授業で不安が多かった中、細かな配慮をしてくださった先生には本当に感謝しております。ありがとうございました。

オンライン授業の強みを実感できた授業になりましたね。



このオンラインという講義をする上で難しい期間であったが、学生の学習を第1に考えていただけた。また、語学の講義においては教員の方から一方的に課題が出され、学生はそれに取り組むという形になることが多かったが、この授業では毎回の課題にアドバイスやコメントを返していただけたので、このオンライン授業という環境でも質を落とさず、充実した講義を受けることができた。この1年で不満に思うオンラインの講義もあったが、この科目はむしろオンラインでのびのび学習できたと思う。講義内だけでなく英語に対する学習意欲もあげることができ、1年生の語学よりも予習復習の時間も増えた。とてもこの講義を取って良かったと感じました。私の学部は他の学部と比べて学生数が少なく、さらに受講する生徒が少なくなる語学なので先生が1位に輝くことが出来ないかもしれません。ですが僕の1票が先生の励みになれば良いかなと思います。僕は十分この科目で力をもらいました。

毎回のアドバイスはモチベーションが上がりますね。



Best comment award

ひとことで表現するなら「思考のビッグサンダーマウンテン」です。“思考を止めるな”を基本スタンスに、ありとあらゆる切り口（アニメ、ゲーム、音楽、映画、SNS、動画サイト、時事問題、人権、政治、LGBTQ、日々の悩み等々）から人間の心理を考え、テキストから読み取ったことや気づきを匿名で授業内掲示板に書き込んでいきます。大人数が投稿するので、まるでTDLのビッグサンダーマウンテンに乗っているかのように、そこそこのスピード感はもちろん、百人百色の思考の流れが掲示板の上にできあがっていきます。週1回、先生からの盛りだくさんの情報配信（投稿へのフィードバックや最新のトピックスなど）がブースターとなり、さらに加速することもしばしばです。なんと春学期は6000を超える投稿があったそうです。

初めは、新しい講義スタイルに戸惑いでしたが、いつの間にかテキストの内容が深く理解できるようになっていて逆に驚きました。学生同士（先生も）顔を合わせたことは一度もないけれど、掲示板でのやりとりは温かく、オンラインでよかったとすら思えました。私は1年生ですが、今までこんなに考え続けた経験はありませんでした。受験とは違う部分の脳が鍛えられた気がします。ぜひ皆さんにおすすめてほしいアトラクション…いえ、授業です！

スピード感が伝わってきます。このアトラクション（授業！）に参加したくなりますね。



コンピューター科目をリモートで指導するのはとても大変なことだと考えられますが、先生はとても分かりやすい教科書を用い、学生が遠隔で新たな技能を学習することを配慮したうえで授業を構成してくれました。特に秋学期はzoomを用いて丁寧に解説して下さり、対面授業と変わらないほどの技能を身に付けられたと思います。zoomでトラブルが発生した際の対応もとても丁寧で、起こりうるオンライン授業ならではのトラブルとその対応策を「事前に明文化」し、提示してくれました。事前に対応策を提示してもらえると、今年ならではのオンラインの悩みが解消され、助かりました。また、グループ発表も職員と会えない中で進めなければならずやや大変でしたが、余裕を持ったスケジュールと的確なアドバイスも頂きました。コロナウィルスで従来とは全く違う授業となってしまう、最も大変なのは教授の皆様だと思いますが、新しいやり方を確立して下さったので、迷いなく授業に臨めました。

迷いなくオンライン授業に臨めるのは安心ですね。



Best comment
award



コロナの流行に伴って初めてのオンライン授業で先生も準備が大変だったと思いますが、私たち学生が学ぶ授業を受ける意欲がわくように工夫されているように感じました。

具体的には、毎回授業についてのリアクションペーパーの提出があったのですが、リアクションペーパーについて授業（録音）の中で触れてくださいました。おかげで他の受講生がどのように考えたのか、どのような疑問を持ったのかを共有することができました。さらに、個別にフィードバックをしてくださることもありました。

試験の代わりにレポート提出が何度かあったのですが、授業の中でレポートの書き方の道筋があったので、初めての履修でもどのように書けばいいのかを困ることがありませんでした。

受講生の提出したものをみて、「こういう内容・書き方はよい」「このようなものでは、不十分である」といった指摘は、その都度してくださいました。自分が提出したレポートについても、内容が不十分な点等は個別のフィードバックがあり、「可能なら再提出できます」と、訂正したものをさらにみてくださいました。

私が、今年度受けた授業の中では、学生が授業を主体的に受けるような工夫が一番されていたと思うので投票させていただきます。

他の受講生の考えが共有されることで
学習の刺激になりますね。



一つ目は自分は今年初めての対面授業がこの先生であったのですが、最初是对面授業に少し不安ではあったのですが、地方在住であることを伝えると親身に寄り添い、対面可能な日を状況を見て相談してください、自分の意見を尊重し、授業を行ってくださったから。とても安心で、嬉しかったです。

二つ目は授業内容である、環境や日本の現状などを分かりやすく教えてくださったから。また、自分の主張の良いところやもう少し再考した方がよいことなどを細かく伝えてくださったり、自らの興味を広げる大切さ、物事を判断、理解するための前提に勉強が必要なこと、勉強を続ける意味を学ばせていただいたから。

そしてなにより三つ目は、授業参加者が少ないことに寂しいと伝えると、人数を考えるのではなく、今置かれている状況や場、機会をどう活用するかをしっかりと軸を持って考えること、そして有意義に過ごすかは自分次第であること、と鼓舞してください、人との関わりや時間を大切に過ごしたいと思い、自らハングリーに学ぶ姿勢を考えさせられたから。

寄り添ってくださる
先生は心強いですね。



Best comment award



まだ大学生活に対する不安ばかりで友達も一人もない春に受けた授業です。オンライン授業にせざるを得ない状況でも最大限プラスに捉えるために、先生がしてくれた工夫の数々とその心遣いがとても印象に残っています。

1番初めの心遣いは、掲示板でした。それぞれの自己紹介に対して全て丁寧な返信をしてくれたことです。先生自身も他の仕事を掛け持ちしたりお忙しい方なのに百何十人もいる受講生みんなに返していました。まだ全然講義自体が始まってない時期で、大学の先生はこんなことをしてくれるのか！とびっくりした記憶があります。

ここからはZoom講義での工夫を述べます。講義が始まる前にチャイムを鳴らし、カメラオンにしてみんなで手を振りながら挨拶をしました。先生自身も満面の笑みで手を振ってました。zoomだからこそ一人ひとりの顔がきちんと見れるそうです。そうして講義が始まります。講義中先生はカメラの位置をずっと自身の斜めに固定します。真正面から写すと威圧感が出てしまうのではというのを危惧してのことです。

またトークテーマを設定したブレイクアウトセッションをたくさん行ってくれました。今の気持ちを共有できたことで思っているのが自分だけじゃない、と安心した面もありとても嬉しかったです。そのおかげで仲良くなれた子もいます。

講義後リアクションペーパーを書くのですが、毎回前回のフィードバックを講義中にしてくれました。良いコメントを取り上げてそれに対する自身の考えを述べたり、気持ちの変化を述べたり、講義で取り上げなかったものに関してもコメントを書いて返してくれます。毎日の生活にモチベがなくて怠惰な毎日でしたが、そのリアクションペーパーに関してはモチベが高くたくさん調べて考察をして頑張っていました。

講義の中身についても先生自身の実体験を基にした考えをたくさん話し、それに関する数値も分かりやすくまとめてくれて、実になるものばかりでした。私たちに対する態度、話し方、内容、講義の進め方どれをとっても素晴らしかったし、これからの大学生活を送る上で絶対に軸になる講義だったと思っています。

オンライン授業ならではの工夫で授業の活気が伝わってきます！



※上記コメントは、基本的に投票いただいたコメントをそのまま掲載していますが、一部修正を加えています。

主催：教育開発支援機構「学生が選ぶベストティーチャー賞」実行委員会

